

和光市文化振興公社（和光市民文化センター）報道発表資料 平成 30 年 8 月 29 日

タイトル	和光市民文化センターサンアゼリア開館 25 周年記念事業 清水かつら記念 第 17 回 日本歌曲 歌唱コンクール 本選審査会結果について
------	--

いつ 実施日時・工期	平成 30 年 8 月 18 日（土）13:00 開始
どこで 会場・開催地等	和光市民文化センターサンアゼリア 大ホール
だれが 主催者・関係者	<p>主催：公益財団法人和光市文化振興公社・和光市                  助成：文化庁</p> <p><b>【審査員長】</b>                  郡 愛子 メゾソプラノ歌手／日本オペラ協会総監督</p> <p><b>【審査副員長】</b>                  古澤 泉 テノール歌手                  水野賢司 バリトン歌手</p> <p><b>【審査員】</b>                  若松 歆 作曲家                  本宮寛子 ソプラノ歌手                  坂本和彦 指揮者 (順不同)</p>
なにを 事業内容など	<p>本選審査会 13 時開始                  本選出場者 22 名による本選審査会。                  18 時より本選審査結果発表。                  会場：和光市民文化センター サンアゼリア 大ホール</p> <p>各賞について</p> <p>第 1 位 賞金 30 万円・賞状授与（埼玉県知事賞）                  サンアゼリア主催コンサートへの出演依頼</p> <p>第 2 位 賞状授与（和光市長賞）・                  サンアゼリア主催コンサートへの出演依頼</p> <p>第 3 位 賞状授与（埼玉県教育委員会教育長賞）                  サンアゼリア主催コンサートへの出演依頼</p> <p>入 賞 若干名 賞状授与                  審査員特別賞 1 名 賞状授与</p>

<p>な ぜ 目的・理由</p>	<p>当コンクールは詩人として「ことば」を大切にされた清水かつらを顕彰し、その理念を受け継いだ日本の歌の振興に資する目的で開催している。全国区の事業であり、本選出場者の歌声をより多くの方々に聴いていただけるように環境づくりや配慮を行うことでオリンピック開催に向けた気運の盛り上がりにつなげていく。</p>
<p>ど う し た 経緯・経過</p>	<p>サンアゼリア大ホールにて、第17回 清水かつら記念 日本歌曲歌唱コンクールの本選審査会を開催した。</p> <p>全国から予選を通過した22名が、今回の栄冠を目指して演奏され、厳正な審査の結果、入賞、審査員特別賞を含めた7名が受賞した。なお、詳細は下記の通りである。</p> <p>第1位 村上 初美 (みらかみ はつみ) 沖縄県  第2位 志村 美土里 (しむら みどり) 群馬県  第3位 遠藤 美和 (えんどう みわ) 神奈川県  入 賞 川島 沙耶 (かわしま さや) 北海道  入 賞 野久尾 智美 (のくお ともみ) 東京都  入 賞 田川 えり (たがわ えり) 愛知県</p> <p>審査員特別賞 牧 優雅 (まき ゆうや) 埼玉県  ※審査員特別賞受賞者の牧 優雅さんは和光市在住。</p>
<p>その他</p>	
<p>問い合わせ先 担 当</p>	<p>係 名 事業係 職 名 主任  氏 名 高野崇  電 話 048-468-7774 (内線 2515 )</p>

市役所問い合わせ先担当課 (公益財団法人和光市文化振興公社 )

入賞者3名 写真は左から遠藤さん、村上さん、志村さん



## 童謡詩人 清水かつら



♪お手つないで 野道を行けば  
みんな可愛い 小鳥になって  
唄をうたえば 靴が鳴る  
晴れたみ空に 靴が鳴る

代表作 雀の学校、靴が鳴る  
みどりのそよ風、叱られて など

童謡「靴が鳴る」を作詩した日本を代表する童謡詩人である清水かつら（本名・桂）は、明治31年（1898年）7月1日に東京本所小名木川（現在の東京都江東区深川）で生まれました。子どもの頃から文学に深い興味と優れた理解力があり、商業学校を経て、出版社に入社し、雑誌の編集に携わるかたわら詩作に励みました。

大正12年（1923年）の関東大震災で家屋・家財を失ったかつらは、母の実家のある新倉村（現和光市下新倉）に身を寄せ、その後、白子村（現和光市白子）に移り住むことになりました。

昭和26年（1951年）7月4日、病気でこの世を去るまで、この地で武蔵野の自然と子どもの純真さを愛して作詩した数々の童謡（世に送り出した作品は300編あまり）は、多くの人々に親しまれています。

和光市文化振興公社（和光市民文化センター）報道発表資料 平成30年8月29日

タイトル	和光市民文化センターサンアゼリア開館25周年記念事業 わこう今昔写真展 ※同時開催 資料展「童謡のまち和光 ようこそ！清水かつら 童謡レコードの世界へ」（協働：和光白子文化の会）
いつ 実施日時・工期	平成30年9月4日(火)～10日(月) ※詳細はチラシ参照
どこで 会場・開催地等	和光市民文化センター・企画展示室 展示ホール
だれが 主催者・関係者	主催：(公財)和光市文化振興公社 出展者：足立恵一、上原昭二、福島正夫、中野三江、石田通、写 団『四季彩』 協働：和光白子文化の会
なにを 事業内容など	写真展（展示ホール）では 大和町～和光市の風景写真 昭和34年～64年、平成元年～30年 ※外環道関連やモモテハイツの写真等々 約200点を展示予定 資料展（企画展示室）では 清水かつらの作品を中心とした童謡レコードの展示を
なぜ 目的・理由	和光市民文化センター開館25周年を機にかつての和光市の風 景をふり返る。様々な世代に対して、かつての姿に触れる機会を 提供することを目的とする。
どうした 経緯・経過	和光市（大和町時代も含む）の写真を多数所有されている方が和 光市に在住しており、その方を軸として多くの方から写真の提供 をいただくことに繋がり実現した。
金額	無料
問い合わせ先 担当	係 名 事業係 職 名 主任 氏 名 塚田美穂 電 話 048-468-7774（内線 ）

市役所問い合わせ先担当課（ 公益財団法人和光市文化振興公社 ）

和光市文化振興公社（和光市民文化センター）報道発表資料 平成30年8月29日

タイトル	陸上自衛隊東部方面音楽隊による 敬老式典コンサート in 福祉の里
------	--------------------------------------

いつ 実施日時・工期	平成30年9月16日（日）11:00～12:30
どこで 会場・開催地等	福祉の里 2F 食堂
だれが 主催者・関係者	主催：（公財）和光市文化振興公社 協力及び出演：陸上自衛隊東部方面音楽隊隊員、うずら児童合唱団
なにを 事業内容など	公益財団法人和光市文化振興公社のアウトリーチ事業『マチナカコンサート』の一環として、陸上自衛隊東部方面音楽隊の協力による演奏者派遣を行っています。 小編成のバンドとヴォーカルによる編成で懐メロなども交えたプログラムを実施します。 今回、和光市で活動を行っている児童合唱団である『うずら児童合唱団』がオープニングで隊員と共演します。 清水かつら作詩の童謡などを中心に演奏します。
なぜ 目的・理由	福祉施設の入居者や利用者の方々などホールに足を運ぶことが難しい方々に良質な演奏をお届けし、楽しんでいただける機会の提供を目的とします。
どうした 経緯・経過	アウトリーチ事業の各施設への派遣演奏事業として陸上自衛隊東部方面音楽隊の協力のもと継続して事業展開しています。施設利用者にとっても毎年の楽しみにもなっており、施設入居者からのリクエストなども毎回届いています。
金額	無料
その他	
問い合わせ先 担当	係 名 事業係 職 名 主任 氏 名 塚田 美穂 電 話 048-468-7774（内線 2516）

市役所問い合わせ先担当課（公益財団法人和光市文化振興公社）

和光市文化振興公社（和光市民文化センター）報道発表資料 平成 30 年 8 月 29 日

タイトル	和光市民文化センターサンアゼリア開館 25 周年記念事業 江原啓之プロデュース開運オペラ!!第二弾!! <b>歌劇「夕鶴」</b>
------	---

いつ 実施日時・工期	平成 30 年 10 月 27 日（土）16：00 開演
どこで 会場・開催地等	和光市民文化センター・サンアゼリア 大ホール
だれが 主催者・関係者	【主催】公益財団法人和光市文化振興公社 【出演者】 佐藤美枝子（つう）、青地英幸（与ひょう）、江原啓之（運ず） 川瀬賢太郎（指揮）ほか
なにを 事業内容など	和光市民文化センターサンアゼリア開館 25 周年記念事業として 二大オペラを上演する。 国際交流や相互理解も目的とした日本とイタリアを代表するオペラ をそれぞれ上演し、文化振興を行う。
なぜ 目的・理由	地域の方々や子どもたちに埼玉県出身の声楽家である佐藤美枝子 さんの歌声と演技を目の前で体験していただきます。オペラへの深い 関心と理解を持つためのとします。また日本を代表するオペラを上演 することで自国への誇りを持つきっかけとする。
どうした 経緯・経過	公益財団法人和光市文化振興公社では、良質で創造的な音楽の提供、 芸術の振興と音楽家の発掘など積極的な地域の文化振興のための事業 展開を行っている。その中の一環として、地域において活動する NPO 法人（オペラ彩）がより活動を発展させる助けとなるよう支援をおこ ない、また公演を開催する。
金額	チラシ参照
その他	
問い合わせ先 担当	係 名 事業係 職 名 主任 氏 名 塚田美穂 電 話 048-468-7774（内線 2516）

市役所問い合わせ先担当課（公益財団法人和光市文化振興公社）

和光市文化振興公社（和光市民文化センター）報道発表資料 平成 30 年 8 月 29 日

タイトル	和光市民文化センターサンアゼリア開館 25 周年記念事業 オペラ彩設立 35 周年記念公演 <b>オペラ「トスカ」</b>
いつ 実施日時・工期	稽古場見学会 平成 30 年 11 月 25 日（日）14：00 開始 本公演 平成 30 年 12 月 8 日（土）9 日（日）14：00 開演
どこで 会場・開催地等	和光市民文化センター・サンアゼリア 大ホール
だれが 主催者・関係者	<b>【主催】</b> 公益財団法人和光市文化振興公社・和光市・オペラ彩 <b>【出演者】</b> 小林厚子・石上朋美（トスカ）、村上敏明・大澤一彰（カヴァラドッシ）、ヴィート・クレメンテ（指揮）ほか
なにを 事業内容など	和光市民文化センターサンアゼリア開館 25 周年記念事業として 二大オペラを上演する。 国際交流や相互理解も目的とした日本とイタリアを代表するオペラをそれぞれ上演し、文化振興を行う。 公演以外に稽古場見学会を開催し、より公演への理解を深める。
なぜ 目的・理由	地域の方々や子どもたちに日本を代表する声楽家の歌声と演技を目の前で体験していただきます。オペラへの深い関心と理解を持つためのとします。また日本を代表するオペラを上演することで自国への誇りを持つきっかけ
どうした 経緯・経過	公益財団法人和光市文化振興公社では、良質で創造的な音楽の提供、芸術の振興と音楽家の発掘など積極的な地域の文化振興のための事業展開を行っている。その中の一環として、地域において活動する NPO 法人（オペラ彩）がより活動を発展させる助けとなるよう支援をおこない、また公演を開催する。
金額	チラシ参照 ※稽古場見学会は予約不要・入場無料
問い合わせ先 担当	係 名 事業係 職 名 主任 氏 名 塚田美穂 電 話 048-468-7774（内線 2516 ）

市役所問い合わせ先担当課（ 公益財団法人和光市文化振興公社 ）